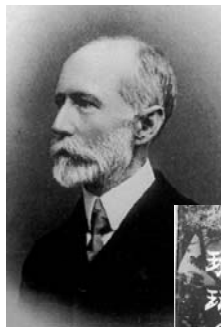


「欧文日本学・琉球学」総論



山口栄鉄著 A5判ソフトカバー312頁 本体 2,800円 ISBN978-4-8295-0763-6

日本及び南島琉球言語文化圏に注目する
欧米人の欧米語による研究成果を積極的に紹介し、
「欧文日本学・琉球学」の新分野を確立した著者の研究軌跡の集大成



東京帝国大学
初代博言学教授
チェンバレン



ジョージ・H
・カーの「赤
表紙本」の
和訳本



1945年7月に来沖、初めて目にする三味線と琉球古典音楽に魅せられ、母校ハーバード大学にこの分野初の学位論文「琉球古典音楽論」を提出したジャン・ラルー



1947年～48年に若い米人ジャーナリストによって発行された「デイリー・オキナワン」紙。



イエール大学初の日本人歴史学教授、朝河貫一

山口 栄鉄

1938年、沖縄県那覇市出身。琉球大学英文科卒業後、米国留学。インディアナ大学、プリンストン大学にて理論・応用言語学博士課程履修中、東アジア言語文学科にて日本語文化を講じる。スタンフォード、イエール大学東アジア言語文学科奉職後、沖縄県立看護大学初代英語科教授。「欧文日本学・琉球学」の新分野を提唱、確立。『英人日本学者チェンバレンの研究—《欧文日本学》より見た再評価』にまとめる。最近の著作に『英人バジル・ホールと大琉球』『チェンバレンの琉球・沖縄発見』『吉田松陰の再発見—異国に眠る残影』『琉球王朝崩壊の目撃者喜舎場朝賢』がある。文学博士。

■第一部 『欧文日本学・琉球学』素描

- ・欧文日本学・琉球学—理論と実践
- ・ジョージ・H・カーの琉球史学—初期「国際琉球学・欧文琉球学」の最高峰
- ・カー氏との交信事始め
- ・「欧文日本学・琉球学」研究史の流れ
- ・米人琉球古典音楽研究家
- ・ガゼット紙論説の琉球処分批判
- ・序説 琉球王国併合
- ・外人記者がみた明治新政府の近隣外交
- ・青い目の「ノロ（祝女）」研究者
- ・欧文琉球学—回顧と展望
- ・沖縄戦直後発行の日刊英字新聞 *The Daily Okinawan*
- ・東恩納寛惇翁の三味線名器発見

■第二部 異国体験記

- ・エール大学と「吉田松陰密書」
- ・開国をその目で見た S. Wells Williams
- ・夏のニューヨーク紀行

- ・私の自由宣言—米国図書館巡遊の旅
- ・僕のアメリカ体験—思い出のスケジュールベイカー

■第三部 時事問題、随想、読後感、書評

- ・危機迫る尖閣—「釣魚島は中国固有の領土」か
- ・尖閣海域 米中覇権のバランスに亀裂—米国『タイム』誌報道を読み解く
- ・中国で身近に感じた「危機」
- ・クリミヤと尖閣—沖縄こそ、その「危機」の実相を知るべき
- ・琉球弧の命運—在米島人（しまんちゅ）の想い
- ・沖縄の民を救う道
- ・東京英国大使館デイビッド・ウオレン大使よりのメッセージ
- ・読後感／書評／古い新聞切り抜き帳より

■第四部 欧文日琉学研究者の論説と英文原典抄録

- ・平恒次教授の「琉球・沖縄の命運」／
- ・私なりの「琉球自治論」—カタロニア自治領と琉球王国

6月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 6月4日（火）です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
「欧文日本学・琉球学」総論		
6月新刊 本体 2,800円	部	